

町の無料開講講座を紹介する連載コーナーです。今号は「木版画教室」と「パソコン教室」を紹介します。

File.14



情報化社会に一步踏み出そう!

パソコン教室



場所 文化村公民館 生徒数 10名(令和元年度) 開講日 第1・3木曜日 時間 13:30-15:30



1 講師と講座生の皆さんでの集合写真。皆さんの気合いが伝わります 2 講座生が作成した素敵な写真付き絵手紙 3 分からない事について講師が一人一人丁寧に指導します



参加者の声

● 湯本 昇さん
元々仕事でパソコンを使う機会がありましたが、操作を忘れないようにとの思いから参加しました。習ったことを忘れないように家での復習を心がけています。地域活動で書類を作ることが多く教室で習ったことが役立っています。

● 永井 けい子さん
脳の活性化のために参加しました。操作を覚えることは大変ですが、先生に優しく教えてもらい、ワードで文章作成を出来るようになりました。他の生徒さんと分からないところを共有しながら楽しく課題に取り組んでいます。

● 佐藤 正二さん
今も現役でパソコンを使った仕事を続けています。教室に参加することで、先生が新しい機能や操作方法を教えてくださいましたので仕事に役立っています。今年はワードでの図形作成を目標に頑張っています。

新しい世界
パソコンで広がる



パソコン教室
講師 橋本 征男先生

30年前、職場にパソコンが普及し始めたころ、パソコンを習う機会に恵まれて知識を深めていきました。15年前より縁があつてパソコン教室の講師を続けています。実用的な文書や表計算作成から、応用的なオリジナル年賀状、ワード絵画やデジカメ写真の編集を主に行い飽きのこないプログラムと時にはジョークも交えて楽しい授業を心掛けています。パソコンの操作は実際やってみて、習慣づけることが大切だと考えています。やってみてつまづいたら聞く。パソコンの操作が上達するためにはこれが一番です。生徒も気兼ねなく質問してくれるので、とても進めやすいです。また、卒業生の方から自作の年賀状が届いた時などはやりがいを感じます。初めての方でも電源の入れ方から丁寧に教えます。あなたもぜひ始めてみませんか。

問合せ 文化村公民館 ☎公民館 87-0498

File.13



「白と黒」が織りなす鮮やかな世界へ

木版画教室



場所 文化村公民館 生徒数 27名(令和元年度) 開講日 第1・3金曜日 時間 9:30-11:30



1 講師と講座生の皆さんでの集合写真。自慢の木版画が花を添えます 2 彫刻刀だけでなく、釘など様々な道具を使用して、濃淡の深みを表現します 3 画業60年記念富張広司木版画展の様子



参加者の声

● 神坂 州男さん
教室に参加して3年目です。木版画の経験はありませんでしたが富張先生に声を掛けられ始めました。文字を表現するところから練習して、今では人物画に挑戦しています。濃淡の表現が難しいですが先生の指導を受けて様々な画法を学んでいます。

● 田村 正子さん
以前より富張先生の作品を鑑賞しており興味を持っていたところ、木版画の教室が開校されることを知り参加しました。油絵の経験がありましたが、白と黒で描く表現力に魅了され、先生の指導の下、これまでに30点以上の作品を制作しています。

● 卯野 新二さん
広報で先生の記事を読んだことがきっかけで、教室開校時より参加しています。教室では先生から小道具を活用した技法などを丁寧に指導してくれるのでとてもありがたいです。白と黒で細かい明暗を表現できるように技術を高めていきたいです。

「版画の街境町」を目指し
木版画を広めていきたい



木版画教室
講師 富張広司先生
富張也以先生

平成26年の「境町シニア木版画ビエンナーレ」の開催がきっかけで、町に木版画家を増やしたいとの思いから境町で講座を開始しました。美術教員の時に木版画に出会い、魅せられて60年。海外派遣留学や国内外での個展開催を通して、木版画の魅力が全世界へ伝えていきます。木版画の魅力は、「白と黒」の濃淡で無限の絵画空間を生み出せることです。濃淡を表現するために、彫刻刀の他、釘を加工した特殊な道具を使用するなど多様な技法を教えます。講座生の作品が上野の美術館での日本版画会公募展に入選するなど日々皆さんの成長を感じています。興味がある方は、町内でも木版画の展示会を多く開催していますのでぜひご覧ください。境町が「版画の街」となることを目指し、多くの皆さんの参加をお待ちしています。

問合せ 文化村公民館 ☎公民館 87-0498